

横浜市生活自立支援施設はまかぜにおける新型コロナウイルス感染について

横浜市生活自立支援施設はまかぜ（横浜市中区寿町4-13-1、指定管理者：社会福祉法人 神奈川県匡済会）において、入所者5名が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

1 経過

- (1) 7月26日（月） 1名の陽性が判明
- (2) 7月28日（水） 3名の陽性が判明
- (3) 8月3日（火） 1名の陽性が判明

26日に最初の感染者が判明後、濃厚接触者（入所者6名）と、感染者と接触のあった職員3名について、PCR検査を27日に行った結果、28日に入所者3名の感染が判明しました。その後、検査で陰性だった濃厚接触者のうち1名が発症し、医療機関を受診したところ、3日に感染が判明しました。

現在、その他の入所者及び施設職員に体調不良の方はいません。

2 陽性者5名に関する情報

- (1) 年代：20歳代1名、30歳代2名、50歳代1名、60歳代1名
- (2) 状況：2名は宿泊療養施設入所（うち1名は本日療養期間終了）、3名は施設内の隔離部屋で療養中です（うち1名は本日療養期間終了）。

3 施設における対応

施設は27日から施設の新規入所を停止し、施設内の消毒を行いました。  
引き続き、マスク着用、来所者の検温や手指消毒の徹底など、感染対策を徹底してまいります。  
なお、8月16日から、新規入所を再開する予定です

【参考】施設の概要

一定の住居を持たない生活困窮者に対して、宿泊や食事の提供のほか、日常生活を営むのに必要な日用品等の支給や、自立に向けての相談等を行う施設です。

入所者数：75名（7月26日現在）

人権尊重・個人情報保護に御理解と御配慮をお願いします。

お問合せ先

健康福祉局生活支援課援護対策担当課長 遠藤 寿彦 Tel 045-671-2374  
横浜市生活自立支援施設はまかぜ 施設長 久保田 浩明 Tel 045-664-6235